

分類	指標名	出典	計
急性期	脳卒中の発症早期に受診した患者の割合(急性期医療機関からの登録のうち、発症3時間以内に受診した患者の登録件数の割合)		1
急性期	24時間、治療(開頭手術、脳血管内手術等)に対応している病院		1
急性期	脳卒中が疑われる患者に対して、専門的診療が24時間実施可能である医療機関数	医療推進課調査	1
急性期	SCU(脳卒中集中治療管理室)を有する病院(脳卒中ケアユニット入院医療管理料の届出施設数)	厚労省「医療施設調査」	2
急性期	脳卒中患者に対する集中治療が可能な病室(SCUなど)を有する病床数		2
急性期	早期リハビリテーション実施件数		1
急性期	脳卒中センターまたは脳卒中支援病院数		1
回復期維持期	リハビリテーションが実施可能な医療機関数	H24.1 診療報酬施設基準	3
回復期維持期	回復期リハビリテーション病棟入院料の届出病床数		5
回復期維持期	回復期リハビリテーション病棟入院料の届出施設がある圏域		1
回復期維持期	回復期リハビリテーション病棟又は亜急性期病床を有する医療機関数		2
回復期維持期	リハビリテーションに係る脳卒中地域連携パス参加病院		1
回復期維持期	リハビリテーション科医師数		2
回復期維持期	在宅療養支援所数	厚生局HP	3
回復期維持期	在宅療養実施医療機関		1
回復期維持期	在宅医療支援病院を有する医療圏域	厚生局HP	2
回復期維持期	訪問看護ステーション数		3
回復期維持期	訪問リハビリテーション・ステーション数		1
回復期維持期	訪問リハ実施機関数		1
回復期維持期	自立生活又は在宅療養を支援するための居宅介護サービスを調整する介護支援員数	介護支援室調査	0
回復期維持期	理学療法士数		1
回復期維持期	作業療法士数		1
回復期維持期	言語聴覚士数		1
回復期維持期	地域で在宅チームに携わり地域リーダーの養成数		1
回復期維持期	在宅医療を担うかかりつけ医のリーダーの養成数		1
回復期維持期	介護保険によるリハビリテーションを実施している医療機関数		0
アウトカム	脳血管疾患による退院患者の平均在院日数	厚労省 H20患者調査	5
アウトカム	脳卒中発症登録に占める再発の割合		1
アウトカム	脳血管疾患患者の在宅等死亡割合	人口動態調査	3
アウトカム	脳血管疾患年齢調整死亡率	平成22年度厚生労働省人口動態統計特殊報告(全国報告値)	36
アウトカム	脳卒中年齢調整初発率	脳卒中発症者状況調査(全数調査)	1
アウトカム	在宅生活の場に復帰した患者の割合	H20 患者調査	5
地域連携	地域連携クリティカルパス参加(導入)医療機関数		6
地域連携	地域連携クリティカルパス導入率	健康長寿課調査	4
地域連携	地域連携クリティカルパスに基づく診療計画作成等の実施(算定)件数		4
地域連携	地域連携クリティカルパス発行件数		1
地域連携	地域連携クリティカルパス適用率(実施割合)		2
地域連携	地域連携クリティカルパス使用患者数		1
地域連携	地域連携診療計画管理料を算定した患者数		1
地域連携	地域連携診療計画退院時指導料を算定した患者数		1
地域連携	地域連携クリティカルパスに基づく診療計画作成等の実施件数50%以上の脳卒中治療病院が参加している二次保健医療圏数		1
地域連携	地域連携クリティカルパス導入圏域数		3
地域連携	モデル的に脳卒中对策の会議を設置		1
地域連携	入院期間とケアマネジャーとの連携件数		1
地域連携	退院時カンファレンスの開催件数		1
その他	40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合		1
その他	60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合		1

(図 1) 医療計画データベース(医療機能に関する記述) : 構成

医療計画データベース(医療機能に関する記述) : 構成

都道府県	予防			...	回復期		
	目標	医療機関に 求められる 事項	医療機関 の例	...	目標	医療機関 に求めら れる事項	医療機関 の例
厚生労働省指針	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>縦軸: 都道府県 横軸: 病期別(予防・救護・急性期・回復期・維持期)</p> <p>① 目標 ② 医療機関に求められる事項 ③ 医療機関の例 に分類して記述内容を記載</p> </div>						
北海道							
⋮							
京都府							
⋮							
沖縄県							

(図 2)医療計画データベース(医療機能に関する記述)検索例：厚生労働省指針・京都府・奈良県

	A	K	L	M
1		回復期	回復期	回復期
2		目標	医療機関に求められる事項	医療機関の例
	厚生労働省指針	<ul style="list-style-type: none"> ・身体機能の早期改善のための集中的なリハビリテーションを実施すること ・再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理を実施すること 	<p>次に掲げる事項を含め、該当する医療機関は関係する診療ガイドラインに則した診療を実施していることが求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再発予防の治療(抗血小板療法、抗凝固療法等)、基礎疾患・危険因子の管理、及び抑うつ状態や認知症などの脳卒中後の様々な合併症への対応が可能であること ・失語、高次脳機能障害(記憶障害、注意障害等)、嚥下障害、歩行障害などの機能障害の改善及びADLの向上を目的とした、理学療法、作業療法、言語聴覚療法等のリハビリ 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションを専門とする病院又は診療所 ・回復期リハビリテーション病棟を有する病院
3	京都府	<ul style="list-style-type: none"> ◇高次脳機能障害へのリハビリテーション医療の強化 ◇先端的リハビリテーション治療の府内導入を促進 ◇地域におけるリハビリテーション連携体制を構築 ◇脳卒中クリティカルパスのIT化を促進し、病院間の情報共有の迅速化を図ることにより、切れ目のない医療の提供を推進 ◇リハビリテーション従事者の確保・育成 ◇回復期リハビリテーション病棟の設置促進 ◇訪問リハビリテーション事業所開設等の推進 	<p>(1)再発防止の治療、基礎疾患・危険因子の管理及び抑うつ状態への基本的対応が可能であること</p> <p>(2)失語等の高次脳機能障害、嚥下障害、歩行障害などの機能障害の改善及びADLの向上を目的としたリハビリテーションが専門医療スタッフにより実施可能であること</p> <p>(3)急性期の医療機関及び維持期の医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携していること</p> <p>(4)回復期リハビリテーション病棟、又は脳血管疾患リハビリテーションⅠ若しくはⅡの届出医療機関であること(当面の間、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の人数が合わせて4人以上いること)</p>	
29	奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ◇身体機能の早期改善のための集中的なリハビリテーションを実施すること ◇再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理を実施すること 	<p>次に掲げる事項を含め、該当する医療機関は関係する診療ガイドラインに則した診療を実施していることが求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇再発予防の治療(抗血小板療法、抗凝固療法等)、基礎疾患・危険因子の管理、及び抑うつ状態や認知症などの脳卒中後の様々な合併症への対応が可能であること ◇失語、高次脳機能障害(記憶障害、注意障害等)、嚥下障害、歩行障害などの機能障害の改善及びADLの向上を目的とした、理学療法、作業療法、言語聴覚療法等のリハビリテーションが専門医療スタッフにより集中的に実施可能であること ◇急性期の医療機関及び維持期の医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携していること 	<ul style="list-style-type: none"> ◇リハビリテーションを専門とする病院または診療所 ◇【回復期リハビリテーション病棟を有する病院
32				
51				

(図 3) 医療計画データベース(現状把握のための指標・数値目標)：構成

医療計画データベース(現状把握のための指標・数値目標)：構成

都道府県		北海道	...	東京都	...	京都府	...	沖縄県
指標名		各二次医療圏		各二次医療圏		各二次医療圏		各二次医療圏
予防	高血圧性疾患患者の年齢調整死亡率							
	⋮							
急性期	脳梗塞に対するt-PA(による脳血栓溶解)両方適用患者への同療法実施件数							
	⋮							
維持期								

縦軸：指標名(左側：病期、右側：指標名)
 横軸：各都道府県(二次医療圏についてもデータが記載されている場合は記載)
 に分類して、医療計画に掲載されているデータを掲載する。

研究成果の刊行に関する一覧表

(論文)

今中雄一. 医療制度改革のあり方：投資シフト、価値創造と社会的協働. 医療経済研究 27(2):69-70. 2015.

今中雄一. 医療介護制度改革の構想：可視化、投資シフトと社会的協働. 医療経済学会 10年記念誌. 医療経済学会 2016 (印刷中).

(発表)

Takayo Nakabe, Yuichi Imanaka. Designing and Developing Comparative Database of Regional Healthcare Plans in Japan. *Kyoto Global Conference for Rising Public Health Researchers*. 2-3 December 2015.

